

『真光寺川 里親の会』通信

9月号 一通算第 114号—

2010年9月12日

まちだ市民大学・真光寺川で学ぶ一受講生の声

前月号でお知らせしましたが、7月11日(日)に、まちだ市民大学HATSの『まちだ de エコ・ツアー～ここからはじめるエコ・アクション』の公開講座が、「川ってどのくらい透明？ 水に親しむ掃除隊！！」というテーマで真光寺川を舞台に行われました。当日は清流の会、エコネット町田の支援で清掃作業、水質検査、ミニ水族館、清流の会の歩みと川の生き物、和光小の子供達の真光寺川学習の紹介等が行われました。その時ご参加いただいた、HATSの受講生やスタッフの方々の感想をHATS発行の《受講生の声》から転載・抜粋してお伝えいたします。

《市民大学事務局より》

ごみ拾い 清水に戻す 真光寺

みなさま、真光寺川での掃除作業・水質調査はいかがでしたか。雨に降られなくてよかったですね。エコネット町田の山口名誉会長をはじめ会員の方の熱心な姿には心を打たれました。真光寺川を清流にしようという強い心意気を感じた次第です。また真光寺川に生息する魚や鳥の紹介も興味深かったですね。近所のお宅の池で飼っている絶滅危惧種の「ほとけどじょう」をわざわざ借りてきていただき、うれしいかぎりです。それにしても、和光小学校の4年生で毎年実践されている真光寺川での総合的学習はすごいですね。小学校の授業で、川に入ってあれだけ能動的な活動ができるなんて、やはり先生方の意識が高いのでしょうか。

盛りだくさんで内容の濃い活動をコーディネートしてくださったエコネット町田のみなさん、和光小の先生方に、あらためてお礼の意を表したいと思います。ありがとうございました。



透明度をチェックしています。
十字が見えました！

玉の汗 川面に落ちて 水は澄む

以下、感想文を掲載します

- ★1km程上流に自転車が川中に投棄されているとのことで、男性3人にてロープで吊り上げ、指定の集積場所へ運ぶ。余計な話ですが、「本来は投棄自転車は川中のままにしておき、管轄の河川事務所へ連絡し収集依頼する。投棄自転車を地上に上げると、警察の管轄に替り、ごみでなく遺失物扱いとなる」との事です。
- ★上流へ移動の途中にも住民が清掃しているのが散見され、感心。作業日が日曜日である事と清流会の活動が根づいて居る事の証でしょう。
- ★真光寺川は日頃の管理が行き届いているのか、住民のモラルが高いのか、ごみの投棄も目立ちません。恩田川ではごみの滞留もあり、夏には背の丈以上に草が伸び、蛇に注意しながらの作業にて音を上げます。
- ★2000年に焼き鳥屋で旗揚げし、地道に環境保全活動を継続させてきた大先輩達のご尽力に敬服。
- ★恩田川と真光寺川の水質比較は興味を持って実験できた。素晴らしい企画でした。恩田川の方が透明度が高いと聞き納得した。(川に入った感じも恩田川の方が綺麗だと思った。)



男性陣は川のごみを拾いました！

(つづき)

その理由も滝沢の湧き水の透明度が高いからだとか。驚いた。又湧水が多いという事もその一因だということでした。でも何故目視できる程魚(オイカワ)があんなに多いんだろう！ 恩田川にはいないです

★ゴミは雨水から流れてくるのが一番多いのではないかな？ 川に入った事で確認できた。

★今年は子供祭りが中止になったとか、子供達は残念でしょう。…早く汚染原因をはっきりさせたい

★いちょう会館に移動する時に散歩中の市長さんに会った。

環境保全課を訪ねて・・・白濁水の検査結果を聞く

7

月26日(月)、町田市環境保全課を訪問し、真光寺川に流し続けている乗馬クラブ「クレイン東京」の白濁水の水質検査の結果について聞きました。検査は環境保全課が検査業者に委託して、5月24日と6月16日の2度、SS(浮遊物質)、BOD(生物化学的酸素要求量)、PH(酸性度)、透視度、大腸菌数、電気伝導率などの項目について行われました。その結果6月16日に馬場の横の沈殿槽出口付近から採取した試料から、SSが基準値(50mg/L)を大幅にオーバーし193mg/L、BODについては排出基準(25mg/L)を若干超える25.8mg/Lでした。環境保全課はこれら2指標が基準値を超えたためクレイン東京へ改善と今後検査を定期的に行うよう指導したとのことでした。

また環境保全課からは、クレイン東京が4月に町内会や町田市や私たち清流の会との話し合いでの約束に基づき、6・7月に駐車場の砂の入れ替えと舗装化が行われ、7月下旬からは馬場の砂の入れ替え作業が始まり9月上旬までに終了する予定との情報を受けました。

これら検査結果やクレイン側の対策の実施を確認して、10月に再度クレイン東京側との打合せを行う予定です。真光寺川に白濁水が流入しないよう監視を続けていきたいと思います。

《川の風景》 9月の花「彼岸花」

9月の中ごろ、真光寺川沿いに真っ赤な花がニョキニョキ現れます。彼岸花です。平成15～16年に当会会員が、河川管理者(都)の内諾を得て、植えたものです。小粒の赤ちゃん球根を含めて1万球ほど。多摩丘陵の一角の開発予定地でブルドーザーに潰される寸前に救出、譲り受けて、この真光寺川に移植保護したものです。

「彼岸花 葉は花を見ず 花は葉を見ず」と歌われたように、花後10月上旬に葉が出てきて5月上旬頃まで青々と茂っていますが、その後は秋のお彼岸ころまで休眠。その後、突然花だけがニョキニョキ現れます。赤ちゃん球根は、未熟のため、花芽ができるのは数年先。また、この球根たちは、今、地下で仲間の球根を増殖中です。

いつの日か真光寺川が真っ赤に染まることを夢見ています。

(情報は岩上会員から、イラストはインターネットから借用)



彼岸花

『めだかポスト』

8月はめだかポスト・一木会からの寄付を合算し1,447円でした。里親の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

8月の清掃報告

8月8日、連日猛暑の中、この日はさいわい曇天に恵まれ、総勢12名が清掃に取り組んでいただきました。川の透明度はすこし良いようだが、相変わらず泡が浮かんでいる。この日は合計18袋のゴミを回収しました。

10月の清掃日は10日(第2日曜日)です。集合：下堰親水場 9:30

と一緒に川を綺麗にしませんか。どなたでも大歓迎です。

『 <http://www.shinkojigawa.com/> 』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp